

## ふるさとを愛する人と心を育むまちづくり

**小** 学校については、地域児童の安全な通学を確保するため、使用年数が経過し、運行距離が長くなったスクールバス車両の更新を図ります。

中学校についてですが、校舎・体育館の耐震補強と大規模改修工事は本年度より2ヶ年の継続事業として実施し、安心して充実した学習環境を整えます。

給食センターでは、古い調理器具の更新を図り、安全で安心な給食の提供に努めます。

社会教育についてですが、まちづくりは人づくりを基本に、町民憲章と教育目標、第9次社会教育計画に基づき振興を図ります。

公民館施設については、旧勝山小学校を勝山公民館として活用するための大規模改修を行います。また、中央公民館の暖房設備の改修や、講堂の音響照明機器を更新いたします。

郷土資料、文化財の関係ですが、札幌学院大学との地域交流に関する協定をもとに、大学生と地域住民の交流を進めるとともに、貴重な郷土資料館資料の活用を図ります。

社会体育についてですが、本町よりプロ野球選手



札幌学院大学と地域交流協定を締結

が誕生したことは、町民の誇りとするところです。このきっかけともなったスポーツ少年団の活動や、昨年度から始めた「おけとわんぱくクラブ」など、少年少女のスポーツ活動の環境充実に努めます。

生涯学習情報センターについては、第3期生涯学習情報センター運営3ヶ年計画を推進し、暮らしに役立つ資料や情報を積極的に提供してまいります。また、貴重な地域資料として収録してきた「古老の声の録音」の編集を始めます。

森林工芸館についてですが、本年はオケクラフトが誕生し30年を迎えます。作り手と町民が30周年を祝い、オケクラフトを中心としたモノづくりのまちとして次代につなぐ記念事業を計画します。

## 心ふれあう協働のまちづくり

**大** 正4年に野付牛村から分村した本町は、平成27年には開町100周年を迎えます。100周年を多くの町民とお祝いし、次の100年につなぐ節目となるよう、本年度より実施事業の内容を検討する準備組織を立ち上げます。

行政事務の中心的施設であり、防災や災害時の重要な拠点ともなる役場庁舎も築44年が経過しました。耐震診断の必要な公共施設としては最後となりましたが、耐震診断を行なって建物の耐久性を把握いたします。

町の仕事の根幹を成す戸籍事務についてですが、電算化システムの導入が本年8月に完了します。利便性が高まり、事務処理の効率化も進むものと期待しています。

広報広聴活動については、まちのホームページをリニューアルし、情報提供の機能充実を図るとともに、今後も必要かつタイムリーな情報の発信に努めます。

一 般 会 計		38億8,200万円
特 別 会 計	国民健康保険	5億0,870万円
	後期高齢者医療	5,250万円
	介護保険事業	3億1,510万円
	介護サービス事業	1,120万円
	簡易水道	4億9,810万円
	下水道	2億5,240万円
合 計		55億2,000万円